



ひらたに시다より 8月号

R8.8.1 ひらた西保育園

毎日のように熱中症警戒アラートが発令されていますよね。エアコンは必須です！

保育園では、この時期プール・水遊びがメインになります。テントやタープを張り直射日光を避けたり、毎日 WBGT 値(暑さ指数)の確認をし、数値によっては時間を短くしたり、中止の判断をするようにしています。夏ならではの楽しいあそびや体験は、暑さ対策をしながら工夫して経験できるようにしていきたいと思います。

またエアコンも切れてしまった車中で1時間も残されたまま亡くなった痛ましい事故をニュースで見ましたが、本当に車の中は尋常ではない暑さです。“少しの時間だから・・・” “せっかく寝てるし” とエアコンがついているからといっても、子どもを車中に残したまま離れることは絶対にやめましよう！ 送迎時のお困りごとがあれば、職員まで声をかけてくださいね。

明日は、なつまつり！

明日1日(土)は、いよいよ夏まつりです！ ぶどう組の和太鼓、めろん組のダンスのオープニングでスタートします。かき氷・ポップコーン・ヨーヨー釣り・あそびコーナーなどたくさんのお店に加えて今年は、海咲丸さんのおにぎりの販売もさせていただくことになっております。(事前予約制) 楽しみにお出かけください。お待ちしております。

*ぶどう組さんのお店は出店しないので、ご家族でしっかりお店を楽しんでくださいね。

9:30～ オープニング：和太鼓(ぶどう組) & ダンス(めろん組)

9:50～ 出店スタート 11:30 終了予定

★ご都合の良い時間におでかけください。

★駐車場は限りがありますので、乗り合わせのご協力をお願いします。

★詳細は事前に配布しておりますお便りでご確認ください。

お願いごとの短冊とともに子どもたちの作品がホールいっぱい揺れています。

みんなのかわいらしい願いが、天に届きますように 🌟

8月の予定

1日(土) なつまつり (全クラス・保護者)

4日(火) スマイルクラブ (みかん・めろん・ぶどう組)

6日(木) デイサービスなつまつり参加(ぶどう組)

7日(金) デイサービスなつまつり参加(めろん組)

12～14日 夏季希望保育

*利用希望予定のご家庭には、後日持ち物等のお便りをお渡しします

*時間等の変更はわかり次第お知らせください。

17日(月) 論語教室(めろん・ぶどう組)

18日(火) 音楽会に参加～おおつか保育園にて～(めろん・ぶどう組)

20日(木) 誕生会

24～9/4 半日保育体験(めろん組)

★9月4・5日 ぶどう組お泊り保育



9月のお弁当の日

11日(金)

*行事の関係等で変更する場合は

早めにお知らせしますね。



これは、阪神淡路大震災の後に兵庫県教育委員会が作った10項目を、劇作家の篠原久美子さんが詩にしたものだそうです。非常時だけでなく、いつのときも私たち大人が心がけたい素敵なメッセージだと思い載せてもらいました。

「子どもの話を聴くときは」 文：篠原久美子
(兵庫県教育委員会 防災マニュアルに基づいて)

- 1、子どもの話を聴くときは、教えてもらう気持ちでね。
一生懸命、耳傾けて、教えてもらおう、子どもの世界。
子どもの世界の扉はね、内側からしか開かないの。
信じるおとなに向かってね。
- 2、子どもの話を聴くときは、じっくり、ゆっくり、ゆったりね。
言おうと思うと時間切れ、中途半端は苦しいよ。
子どものつらさと言葉はね、
外に出るまで時間がいるの。
待ってる時間も、聴いてる時間。
- 3、子どもの話を聴くときは、「聴いてるサイン」を伝えてね。
あいづちうって、うなづいて、子どもの言葉を繰り返してね。
不安な気持ちの子どもはね、小さな合図で安心するの。
「ぼくを分かってくれてるな」って。
- 4、子どもの話を聴くときは、途中で止めたりしないでね。
批判をしたりまとめたり、言い聞かせないでただ聴いて。
おとなが口を開くとね、子どもの口が閉じてくよ。
知りたいのなら、耳、開こう。
- 5、子どもの話を聴くときは、脳のサインをみていてね
子どもはたいいとおとなのね、
目なんか見ては話せない。
それでも分かっているとき、脳で合図を送ってる。
見逃さないで、みていてね。

- 6、子どもの話を聴くときは、顔の高さを合わせてね。
上から見下ろされるとね、だれでもちょっと堅くなる。
視線の低い子どもにね、しゃがんで視点を合わせてね。
子どもが話しやすいから。
- 7、子どもの話に答えるときは、声の調子を同じにね。
大きな声や高い声、おとなのいろいろ伝わるよ。
子どもは意味を知らなくてもね、
声で気持ちが分かるんだ。
言葉が出にくくなっちゃうよ。
- 8、子どもの不安を聴くときは、子どもの気持ちを感じてね。
「なぜ？」「どうして？」が、
間いつめに感じてしまうとき、あるの。
子どもの心配、不安はね、
「不安なの？」って繰り返してね。
答えは、一緒に考えて。
- 9、子どもの不安を聴くときは、すぐに原因、決めないで。
「地震のせいだ」「性格だ」、
決めてもそれは答えじゃないの。
子どもを取り巻く世界もね、子どもの心も単純じゃない。
広く大きな視野で見て。
- 10、子どもの悩みを聴くときは、子どもの力を信じてね。
しっかり聴いて、じっくり支え、
色んな見かたのアドバイス。
だけど最後は子どもがね、子ども自身で解決するの。
おとなが信じた子どもはね、乗り越えられるよ、大丈夫。

